

児童生徒の“学び方の育成”に着目した取組を紹介します

12月10日（水）に開催した県の学力向上担当者会議において、「学び方を学ぶ生徒を育む」というテーマで、阿武町立阿武中学校に事例発表をしていただきました。生涯に渡って学び続けられるように、児童生徒自身が学び方を身に付けていくことが大切です。裏面には、防府市立桑山中学校や、岩国市教育委員会の取組も紹介していますので、御覧ください。

阿武町立阿武中学校

「学び方を学ぶ生徒を育む～地域とA I、2つの柱で実現する確かな学力～」

【①授業力の向上】 ～生成A Iを学びのパートナーとして～

- ・学びのプロセスを可視化（まとめ動画を見て振り返り、生徒の振り返りに生成A Iから感想と質問をもらう等）➡右図
- ・生徒同士で「生成A I学習アシスタントアプリ『スタディポケット』」の効果的な使用方法を共有
- ・教員が作成した指導案を生成A Iで分析し、授業改善
- ・研修職員会（月1回）で生成A Iの有効な活用方法を紹介
- ・教員が作成した定期テストを生成A Iで分析・改善

《毎授業ノートに記録》

- 1学習のねらい
- 2課題解決のための資料
- 3課題の解答
- 4まとめ
- 5まとめ動画(生成AI作成)
- 6振り返りとAIからの感想と質問

【②組織力の充実】 ～「みんなでやる」教職員の熱量がすごい！～

- ・1日分の振り返り「アクティブリコール」
 帰りの会（15分間）でノートに記入し、
 学年の教員がコメント ➡右図
- ・学び直し「ガリ勉学習タイム」
 生徒が習熟度別クラスも、学習内容も選択し、教員・地域の方々に支援
- ・生徒自身が正答率等を分析・課題把握

効果的なフィードバック

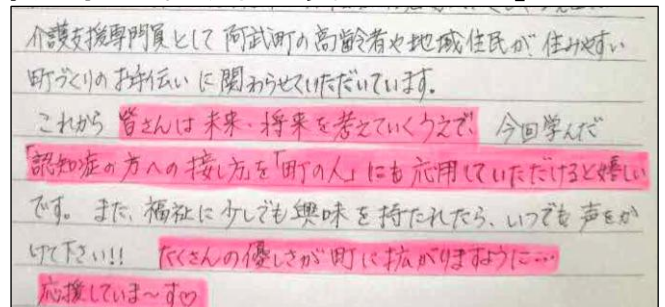
～「アクティブリコール」～

- ・帰りの会で15分間実施。
- ・1日の学びや疑問、何をどのように学習するかを専用ノートに記述。
- ・教師が毎日コメントを書く。
- ・AIからの質問を活用し、学びを深める。メモもUPしました！

ポイントは学校全体で、
組織的に取り組んでいること！

【③連携力の強化】 ～阿武学園（小中一貫教育）学力向上における「あぶPRIDE」～

- ・地域の方からのメッセージ「ハートリターン」
 地域の方の思いや願いに触れる経験 ➡右図
- ・小・中合同研修会、小学校への乗り入れ授業
- ・町教委主催 小・中学生と大学生との補充学習
 「ABUチャレンジセミナー」や町営塾の開設
- ・町内全教員がめざす方向を確認する機会
 （年3回の参集型ミーティング）



【子どもと大人の姿から「伸び」を実感】～学び方を学び、それを実践できる生徒に成長中～

- 子ども 学習意欲の向上・「学び」が自分ごとになってきた・自分の考えを書く力がアップ
- 大人 学力向上に誇りをもって取り組む姿＝自走する姿（大人の「あぶPRIDE」）

防府市立桑山中学校「正しい“やり直し”による基礎・基本の定着 ～生成A Iを活用した類題への取組を通して～」

防府市立桑山中学校では、生徒の基礎的・基本的な学習内容の確実な定着に向けて、学習の仕方の改善に着目した取組が進められています。間違えた問題に焦点をあて、“やり直し”を各教科共通したやり方で実践し、学習の仕方を生徒が身に付けられるようにしようとしています。具体的には、次の①～③をセットにしています。

- ① 間違えた原因を生徒自身が分析する
- ② 実際に解き直してみる
- ③ 類題にチャレンジする

③に取り組む際には、生徒自身が「生成A I 学習アシスタントアプリ『スタディポケット』」を活用し、類題を作成して基礎基本の定着を図っています。また、定期的にアンケートを実施し、生徒の声を把握することで、教員の授業改善や生徒の学習改善につなげようとしています。「学習内容の定着」だけでなく、「学習方法の習得」に着目し、バランス良く指導しています。

【間違えた問題の類題作成のようす】

(3) $\frac{10-3y}{4} = \frac{5-y}{3}$

この問題の類題を5問作って下さい。



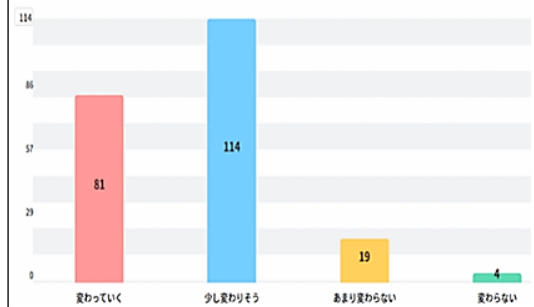
StudyPocket AI

以下のように類題を5問作成しました。

1. $\frac{8-2x}{5} = \frac{7-x}{4}$ を解きなさい。
2. $\frac{12-4m}{6} = \frac{9-m}{3}$ を解きなさい。
3. $\frac{15-5t}{7} = \frac{10-t}{5}$ を解きなさい。
4. $\frac{9-3a}{8} = \frac{6-a}{4}$ を解きなさい。
5. $\frac{14-6z}{9} = \frac{11-2z}{4}$ を解きなさい。

【生徒へのアンケート結果のようす】

Q12 今回のやり直し週間の経験で、自分の勉強の仕方は変わっていきそうですか？

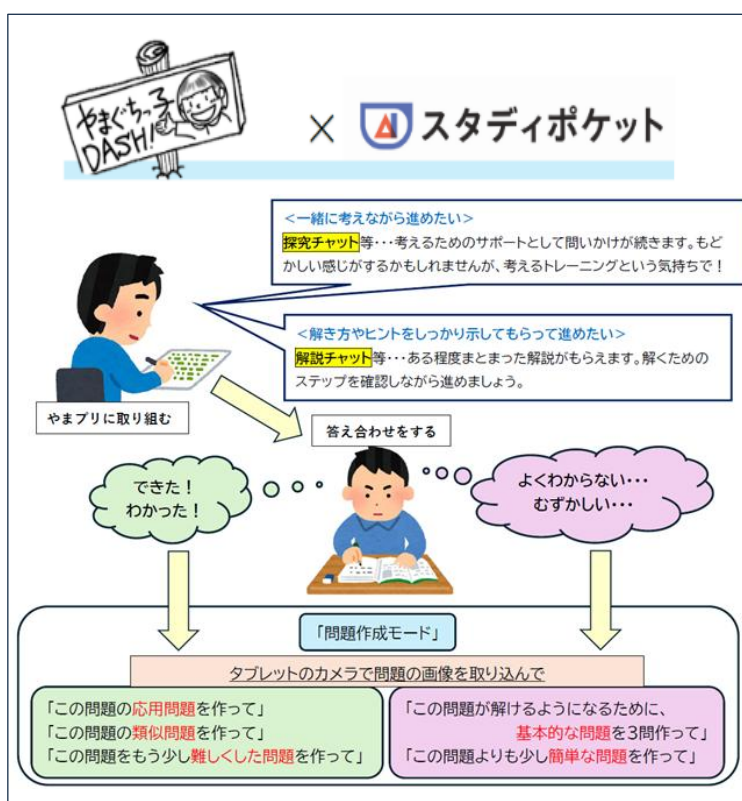


PDCA サイクルの中で「やまぐちっ子学習プリント DASH」を生かす

各学校では、学力定着状況確認問題の結果を受け、来年度に向けての取組を加速していただいているところと思います。その取組の中でぜひ生かしていただきたいのが「やまぐちっ子学習プリント DASH」です。児童生徒に身に付けてほしい力を意識した問題になっています。さらに、「やまぐちっ子学習プリント DASH」にひと工夫加えて活用することで、児童生徒の学習改善につながる強力なツールになると考えています。

<例>

- ・家庭学習で DASH の問題に取り組み、授業で解き方等について、グループで話す場を設ける。
- ・生成A I を使い、難易度を調整して類題を出したり、自分で学習を進めたりできるようにする。(中学校では「スタディポケット」が活用できます。)



参考：岩国市教育委員会作成資料